

## 高浜発電所4号機の蒸気発生器伝熱管の施栓履歴

	A-蒸気発生器 (3,382本)	B-蒸気発生器 (3,382本)	C-蒸気発生器 (3,382本)	合計 (10,146本)	施 栓 理 由 ( )内は、実施した対策
第4回定検 (1990.2～5)	7	9	5	21	振止め金具部の摩耗減肉 (振止め金具の取替実施)
第9回定検 (1996.9～11)	10	0	0	10	管支持板洗浄装置の接触痕を確認
第11回定検 (1999.4～7)	0	0	4	4 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第12回定検 (2000.9～11)	4	1	6	11 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第13回定検 (2002.1～3)	1	0	0	1 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ (ショットピーニング施工)
第14回定検 (2003.4～6)	1	1	0	2 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第15回定検 (2004.8～10)	112	122	105	339	旧振止め金具部の微小な摩耗減肉 (新方式のECT採用)
第18回定検 (2008.8～12)	0	0	1	1 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第19回定検 (2010.2～5)	0	0	1	1 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第20回定検 (2011.7～2017.5)	0	1	1	2 <sup>※</sup>	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
第21回定検 (今回施栓予定)	2	0	0	2	高温側管板拵管部の応力腐食割れ
累積施栓本数 [施栓率]	137 [4.1%]	134 [4.0%]	123 [3.6%]	394 [3.9%]	※前回までの応力腐食割れ 合計:22本

○蒸気発生器1基あたりの伝熱管本数:3,382本

○定検回数下部に記載しているカッコ内の年月は、解列～並列

○安全解析施栓率は10%

(伝熱管の施栓率が10%の状態において、プラントの安全性に問題がないことが確認されている)